

事業仕分けの日程、が決まりました。  
7月23・24の土日、平坂勤労会館の体育館ホールが会場です。

対象事業は20で、仕分け人は5人。市民仕分け人は2人で、  
三浦真澄さん(社会保険労務士)と岡田和幸さん(元教員)  
おふたりとも、市の「行政評価委員」を経験しておられることから  
市の事業内容にも詳しいという観点から選ばれたのでしょう。

外部仕分け人として、長浜市職員と民間企業の2人が加わり  
コーディネータが、滋賀大学地域連携センター特任教授の石井良一さんで  
外部仕分け方々とも、滋賀大学事業仕分け研究会メンバーとのこと。

肝心の市民判定員ですが、1日15人。  
応募者30人の中から抽選で30人を選ぶといえます。

仕分け事業は、次の20。

(～の右側は、事業選定会議で出された意見ですって)

- ① 広報にしお～発行回数は妥当か・市民の要求が反映されているか…
- ② 明るい選挙推進事業～啓発方法を考える・パターン化していないか…
- ③ 自主防災組織支援事業～訓練はうまくいっているか…
- ④ 前納報奨金～不公平感はないか…
- ⑤ 緊急通報システム設置事業～機器の選定は適切か、近隣との費用の比較…
- ⑥ 母子健康相談事業～利用率はどうか、相談業務の内容は適切か…
- ⑦ まちなか賑わい創設事業～どの程度の効果があるのか
- ⑧ 鳥獣害対策事業～どの程度の効果があるのか
- ⑨ 市民相談事業～利用率をどう判断するか、窓口の一本化はどうか…
- ⑩ 六万石くるりんバス～利用率をどう判断するか…
- ⑪ 市民活動推進事業補助金～効果的に事業が実施されているか…
- ⑫ ペットボトル等回収事業～実施主体や方法は適切か…
- ⑬ 民間住宅地震対策補助事業～効果的に事業を行うにはどのようにすべきか…
- ⑭ 小学校コンピュータ管理事業～計画的な更新がされているか、有効活用は？…
- ⑮ 中学校コンピュータ管理事業～ 同上
- ⑯ 特色ある学校づくり推進事業～予算配分の方法は適切か…
- ⑰ IT講習推進事業～事業として、当初の目的は達成しているのではないか…
- ⑱ スポーツ教室開催事業～実施主体は適切か、民間委託ではどうか…
- ⑲ 文化公演開催事業～市民との協働・委託の方法はどうか…
- ⑳ 図書館利用促進事業～効果的・効率的な実施方法は…

みなさん、どう感じられますか？

「仕分け」～続けるか、止めるかじゃなくて、利用促進策を考えるものばかりみたい！？

私たちが期待している「事業仕分け」とはちょっと違うんじゃないですか？

選定時の意見というのは、市役所内部での意見なわけで、  
それぞれの事業を行う上で当然に検討され改善されているべきものじゃないの？！  
と、私は思うんですけどね。

例えば、くるりんバス。

バス運行は、市民を含めた検討委員会で検討されているはずですし、  
営業成績など、その検討委員会で定期的・継続的にチェックし、乗車アンケートや  
巡回経路の町内会などとも意見交換するなど、もっと出来るはず。

これ以外にも、20事業の中には  
市民の意見を聞きながら行う仕組みに、既になっている事業が幾つもあります。

それはそれでいいけど、市民は、  
もっと踏み込んだ「斬り込む」ような「仕分け内容」を、  
期待してると思うんだけどなあ、どうですか？